

甲状腺外科草子 94

藤堂高虎の高石垣：伊賀上野

杉野圭三

藤堂高虎は今治城主になった後、江戸城改築などにも従事、慶長 13 年（1608 年）に今治城周辺の越智郡 2 万石を飛び地とし、伊賀国内 10 万石、伊勢安濃郡・一志郡内 10 万石、計 22 万石に加増移封され、津藩主となる。

慶長 16 年（1611）に伊賀上野城の本丸を拡張、高さ約 30 メートルの高石垣を作った。天守閣は翌年建設中に 9 月の大暴風で倒壊したが、外郭には、10 棟の櫓（二重櫓二棟、一重櫓八棟）と巨大な渡櫓（多聞）、大手門や御殿などが建設された。

秋の某日、京都方面から寄り道をして伊賀上野を目指すこととした。伊賀上野へのアクセスは不便である。京都から JR 利用で 2 つのルートがある。木津（奈良線）、加茂（大和路線）経由の伊賀上野（関西本線）行き、または草津（琵琶湖線）、柘植（草津線）経由で伊賀上野（関西本線）行きの選択で、どちらも 1 時間 40-50 分必要な長時間の行程である。

迷った挙句、木津経由としたが乗り替えが多く煩雑である。驚いたのは関西本線が単線でディーゼル 1 両のみ。「本線の意味は何か？」と言いたくなるが、山間の盆地を抜ける路線で乗降客も少なく 1 両編成に納得した。



関西本線の雄姿？



伊賀上野城入口



城内部の石垣



天守閣

JR 伊賀上野駅前には喫茶店や土産物屋もな

く、閑散としていた。城の入口は攻めやすそうな緩やかな坂道だが、途中に防御のためか城塞内部にも石垣が築かれていた。



有名な高石垣と堀



再建された天守閣

倒壊したままの天守閣復興は川崎克代議員や伊賀地方町村の協力で昭和 7 年 9 月 14 日開始され、昭和 10 年 10 月 18 日落成を迎えた。



川崎克氏



上棟式(昭和 8 年 11 月 19 日)

天守閣復興にあたり、コンクリート様式を勧められたそうだが、川崎氏は日本文化・建築の美を守るため、古来の木造建築の必要性を説いたとのことである。川崎氏の骨董品売却や三重県の山林家からの木材提供もあり、3 年後にようやく完成を迎えた。

天守閣の無い城は寂しいものだ。木造で名城を再建された熱意と努力に敬意を表する。

参考資料：Wikipedia

(一甲状腺外科医の徒然なる随想)

2024 年 3 月 12 日